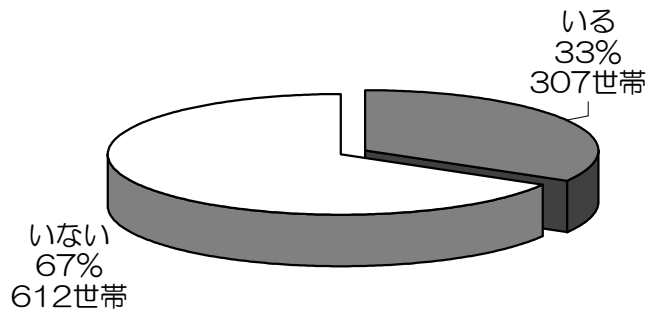


雄和地域 マイタウン・バス 全戸アンケート調査結果

- 1 回答世帯数 920 世帯 (回答率45%)
 2 期 間 平成22年6月4日～6月30日
 3 集計結果

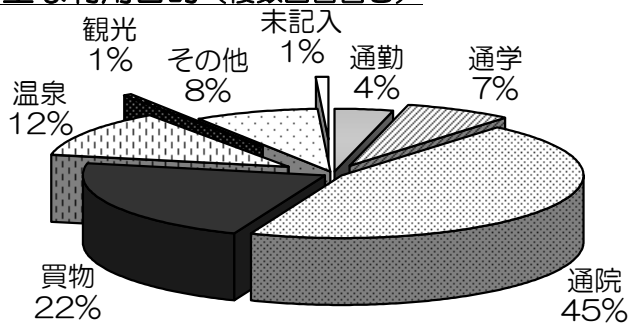
秋田市マイタウン・バス南部線
 雄和地域運行協議会
 秋田市交通政策室

① 家族の中でマイタウン・バスを利用している方がいる世帯数 (未回答含まず)



マイタウン・バスを利用している世帯数は307世帯、33%となった。
 また、その人数は、446人となった。
 よって、回答率を単純に地域人口でかけ合わせるとマイタウンバスの利用者数は、約900人と予想される。

② 主な利用目的 (複数回答含む)



主な利用目的	世帯数
通 勤	21
通 学	40
通 院	244
買 物	122
温 泉	68
観 光	4
その他	47
計	546

※その他の目的としては、サークル活動、カルチャー、会合・会議などがあつた。

通院が45%と最も多く、ついで買物への利用で22%となっている。

③ 利用目的別の主な目的地

(上位2位または回答世帯数が10世帯以上のもの。)

/(1) 通勤

- 1位 秋田駅
 2位 旧秋田市内

/(2) 通学

- 1位 四ツ小屋駅
 2位 雄和市民センター

/(3) 通院

- 1位 秋田赤十字病院
 2位 秋田駅付近の病院
 3位 中通総合病院

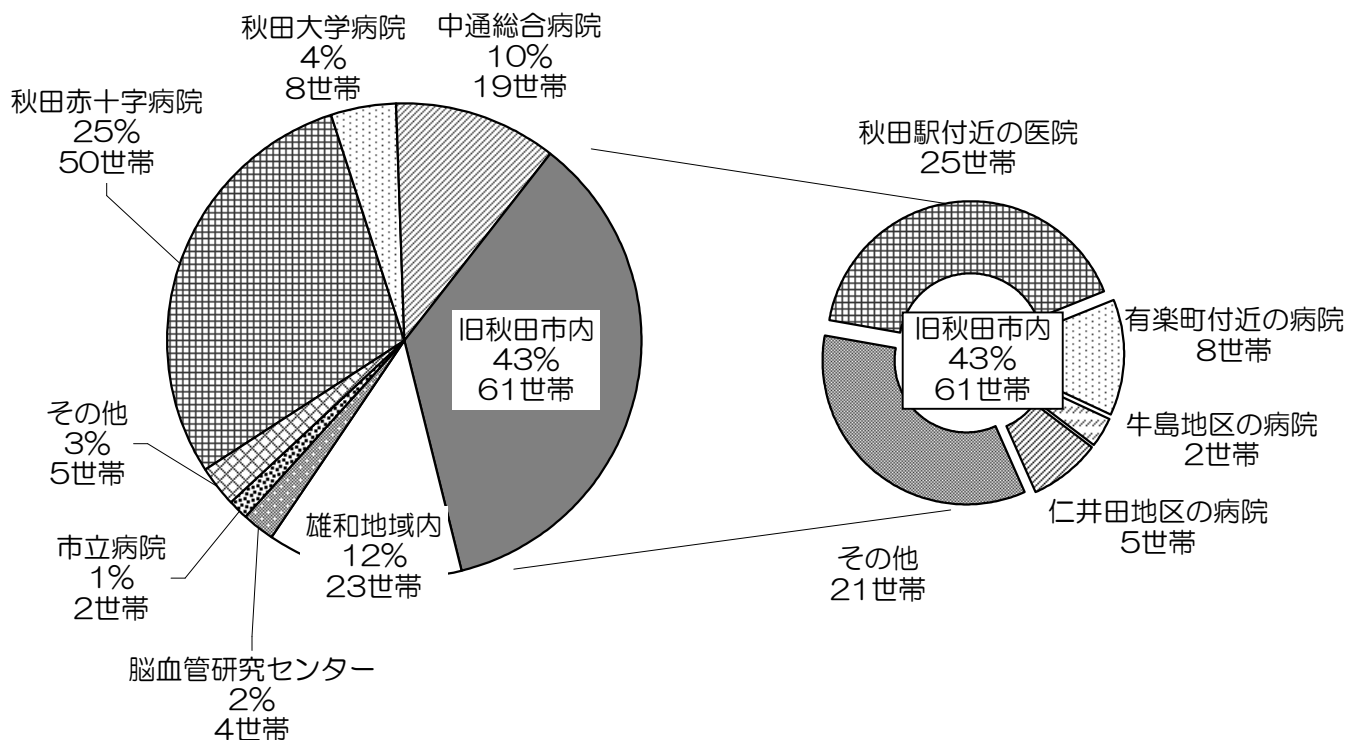
/(4) 買物

- 1位 秋田駅
 2位 旧秋田市内

/(5) 温泉

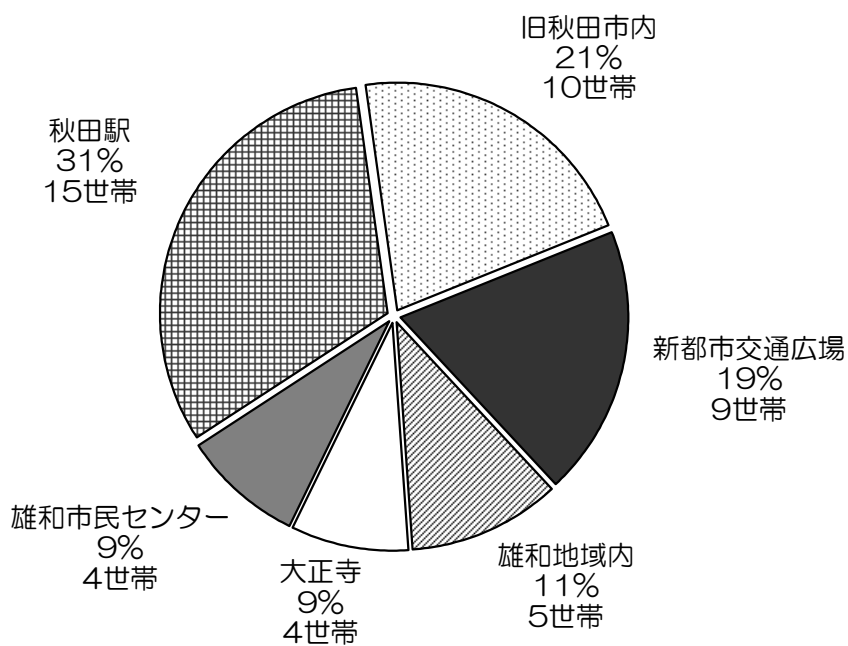
- 1位 ユアシス
 2位 耕心苑

a. 通院を利用目的にしている人の目的地の詳細 (未記入は除く。)

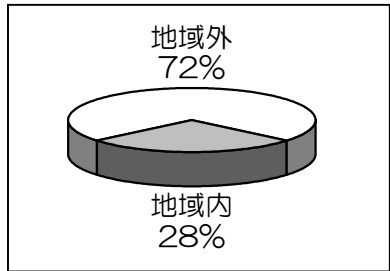


通院先を旧秋田市内および旧秋田市内の総合病院と答えた方が半数の88%となった。
また、病院別では、秋田赤十字病院が最も多く全体の25%となっている。

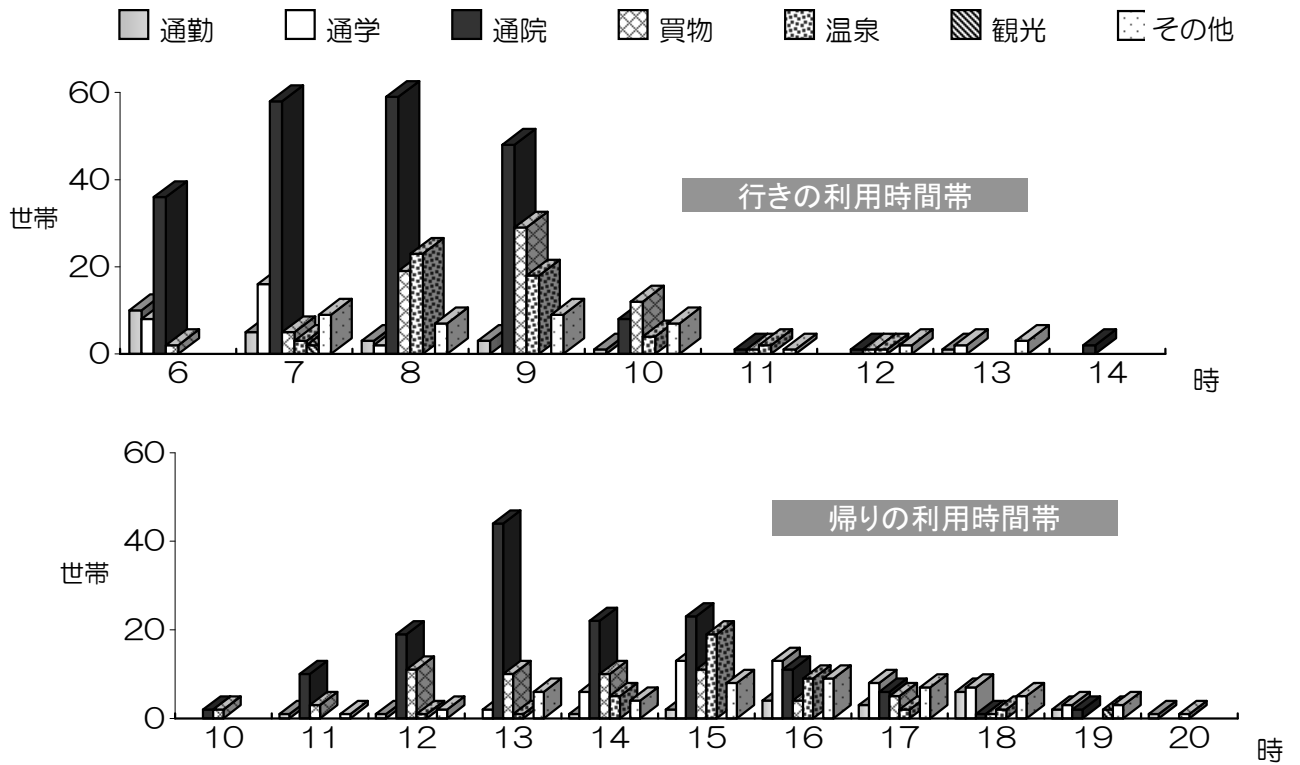
b. 買物を利用目的にしている人の目的地の詳細 (未記入は除く。)



買物は、地域外72%、地域内28%となった。
また、最も多い買物先は秋田駅前で31%となっている。



④ 利用目的別の利用時間帯（複数回答含む）

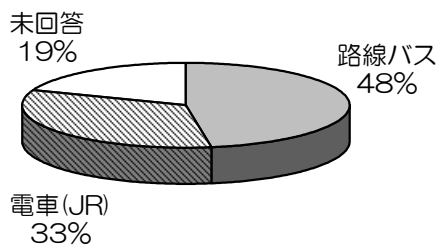


利用目的別の利用時間帯では、通勤と通学は6～7時台、通院は6～9時台、温泉が8～9時台に出掛けている。帰りの時間帯は、通学が14～18時台、通院は11～16時台、買物は12～15時台に利用されている結果となった。

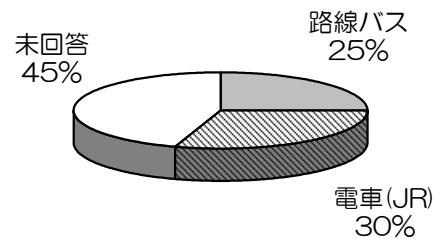
⑤ 主な利用目的別の乗りつぎ交通機関

通学を除き、すべての利用目的で路線バスが主要な乗りつぎ交通機関となっている。特に通院では、ほとんどの方が路線バスを利用している。

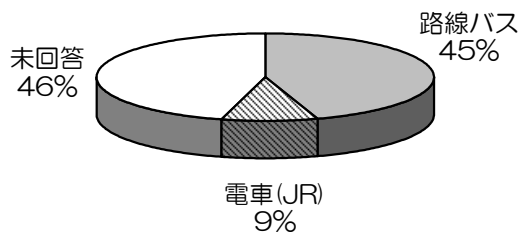
/(1) 通勤



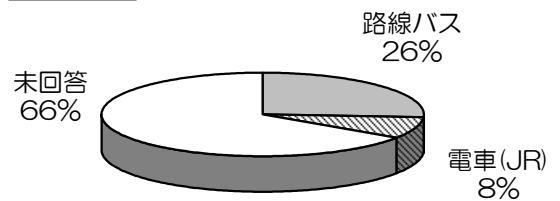
/(2) 通学



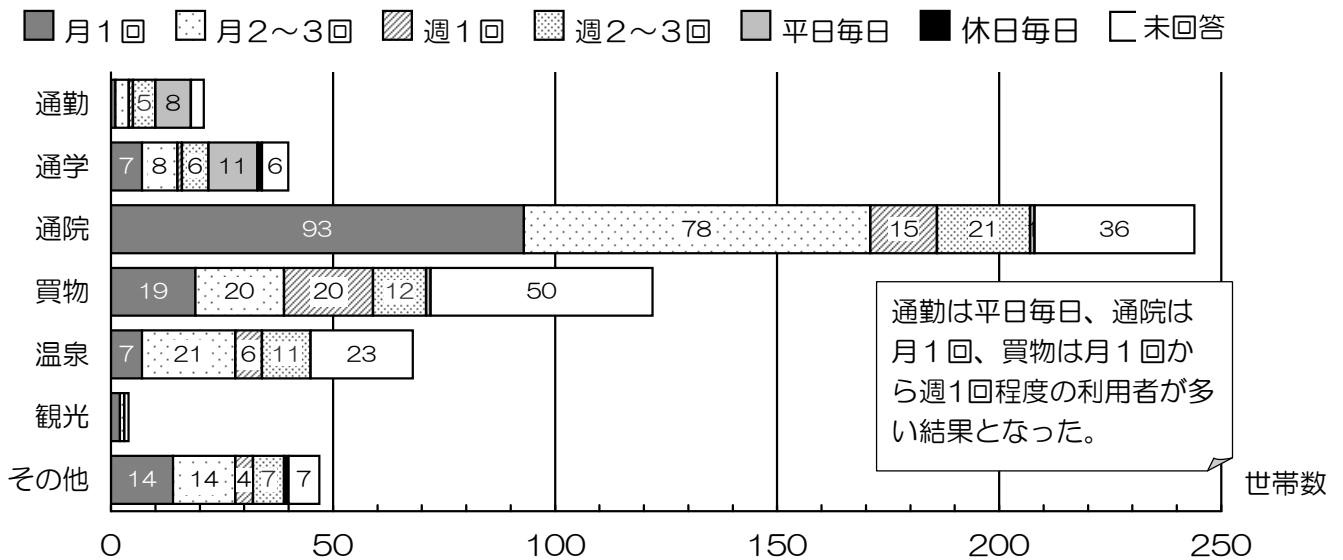
/(3) 通院



/(4) 買物

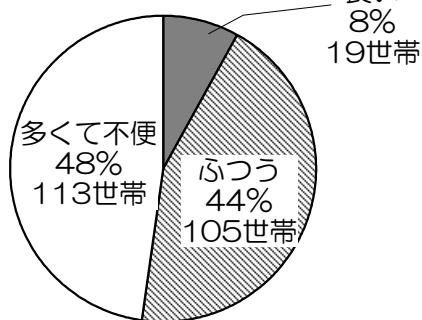


⑥ 目的別の利用頻度（複数回答含む）

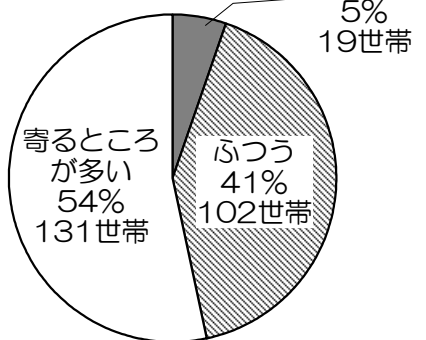


⑦ 現在利用しているマイタウン・バスについて（未回答除く）

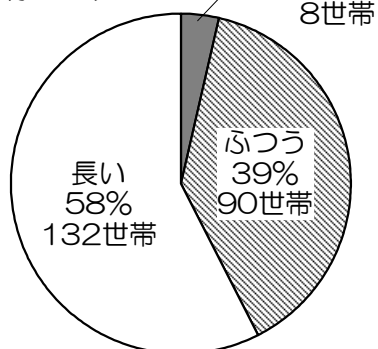
／(1) 乗りつぐ回数について



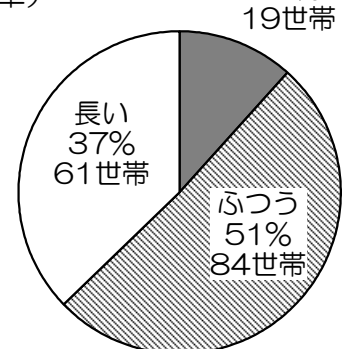
／(2) 路線の長さについて



／(3) 乗りつぎ時間
(路線バス)



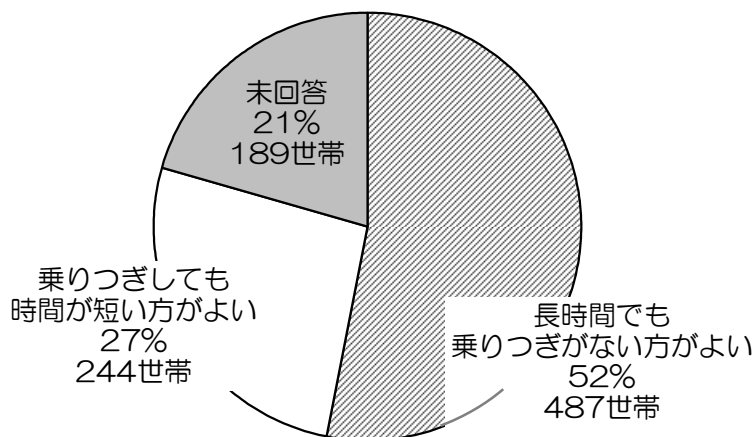
／(4) 乗りつぎ時間
(電車)



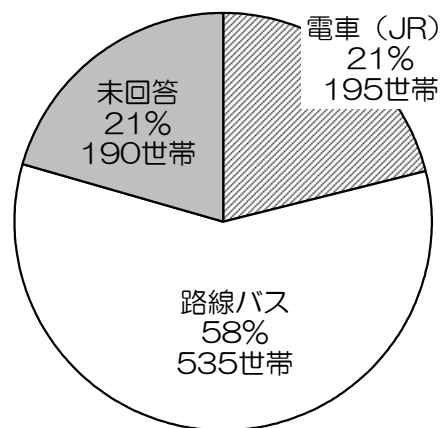
現在運行しているマイタウン・バスについては、路線の長さや、路線バスへの乗りつぎ時間に不便を感じているという結果となった。また、乗りつぐ回数については、適当であると不便であるが同程度であった。

⑧ マイタウン・バスに対する要望

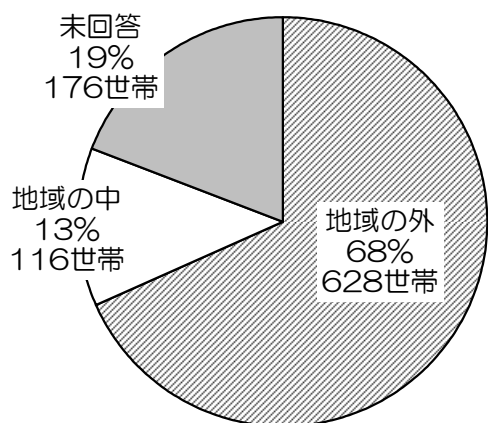
(1) 路線の長さや乗りつぎの回数のどちらが少ない方がよいですか。



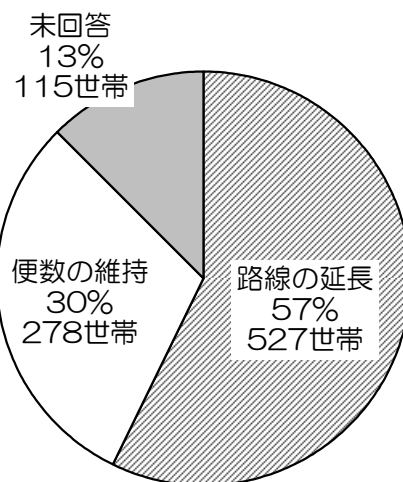
(2) 乗りつぎ交通機関として路線バスと電車のどちらを優先したら良いと思いますか。



(3) マイタウン・バスを利用する場合の主な目的地はどこですか



(4) 「路線の延長」と「便数の維持」のどちらを優先したら良いと思いますか。



マイタウン・バスに対する要望については、便数を削減しても路線の延長を行い乗りつぎの軽減を図り、また、地域の外への利便性の向上を望んでいるという結果となった。

⑨ 「マイタウン・バスを使いやすくするにはどのようにしたらいいと思いますか」

の自由記述には、163世帯の方に回答をいただき、主なご意見は次のようになりました。

- 秋田駅、新都市交通広場、秋田赤十字病院、御野場まで延伸し乗りつぎの軽減を図った方がいい。
- 幹線のみを走行し、運行時間の短縮を図った方がいい。
- いろいろな利用の仕方に対応できるよう便数をもっと増やしたら使いやすくなる。
- 路線バスと電車の乗りつぎの利便性を向上させた方がいい。
- 運賃をもっと安くした方が利用しやすい。